

1. 日程：

2008 年 5 月 31 日（土）・6 月 1 日（日）

2. 開催校：広島修道大学

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東 1-1-1 広島修道大学法学部 <http://www.shudo-u.ac.jp/www-law/>

3. プログラム

統一テーマ：「地球共同体の実現に向けて：ミレニアム目標の到達点と課題」

第 1 日目（広島修道大学 6 号館 6102 教室）

開会の挨拶 渡邊 昭夫（新理事長、平和・安全保障研究所副所長）

10:00－10:30 基調講演

「持続可能な開発の促進における国連の役割―特に地球温暖化問題を中心として」

廣野 良吉（成蹊大学名誉教授）

10:40－12:30 第 1 セッション「ミレニアム開発目標の到達点」

座長 大芝 亮（一橋大学教授）

「MDGs プロセスと国際援助調整システム―その意義・課題と展望」

稲田 十一（専修大学教授）

「MDGs―サハラ以南アフリカの現状と課題」

遠藤 貢（東京大学教授）

「ジェンダー平等―クロスカッティング・イシューとして」

堀内 光子（文京学院大学教授）

12:30－14:00 昼食（理事会、5 号館 5415 教室）

14:00－17:00 第 2 セッション「国連の経済社会協力のあたらしいかたち」

座長 秋月 弘子（亜細亜大学教授）

「国連の経済社会協力のあたらしいかたち―国際法的観点から」

吾郷 真一（九州大学教授）

「国際開発援助レジームにおける国連システムの役割と展望―援助の調和化と平和活動の統合化をめぐる」

大平 剛（北九州市立大学教授）

「グローバル・コンパクトが開く官・民シナジーの可能性」

野村 彰男（早稲田大学教授）

17:00－17:30 総会

18:00－20:00 懇親会

会場：リーガロイヤルホテル広島 3 階 音戸の間 会費：5,000 円（当日学会受付にて申し受けいたします。） ※広島修道大学からバスにて会場へ移動いたします。

第2日目（広島修道大学 6 号館 6102 教室）

10:00－12:30 第3セッション 若手独立報告

座長 位田 隆一（京都大学教授）

「アフリカにおける国連平和維持活動（PKO）の変質に関する一考察—スーダン（ダルフル）とソマリアの事例をもとに」

井上 実佳（津田塾大学国際関係研究所研究員）

「国連の民主化支援体制とその課題—UNDEFの活動を中心に」

杉浦 功一（和洋女子大学 専任講師）

「国連事務局における事務総長のリーダーシップ—組織・幹部人事から見た一考察」

古川 浩司（中京大学准教授）

「国連システムにおける調達行政の意義と企業・NGOの役割」

坂根 徹（日本学術振興会特別研究員、東京大学）

12:30－14:00 昼食（編集・企画合同委員会、5号館5415教室）

14:00－16:30 第4セッション 「国連による平和と安全の維持のゆくえ」

座長 香西 茂（京都大学名誉教授）

「国連安全保障理事会の創造的展開とその正当性—憲章第七章の機能の多様な展開をめぐって」

佐藤 哲夫（一橋大学教授）

「国連と人間の安全保障—規範的展開と実践における課題」

栗栖 薫子（大阪大学准教授）

“New international security architecture : Japan’s changing role? ”

Dr. Nassrine Azimi（UNITAR 広島事務所長）

閉会の挨拶 勝間 靖（新事務局長、早稲田大教授）